

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第2回上尾市スポーツ推進審議会	
開 催 日 時	令和7年3月25日(火) 午後2時00分～午後3時40分	
開 催 場 所	上尾市役所7階 教育委員室	
議長(委員長・会長)氏名	遠山 正博 会長	
出席者(委員)氏名	田島純委員・篠原文子委員・樋口敦委員・中村清治委員・柳瀬義弘委員・萩原康彦委員・只隈伸也委員・山下文孝委員・柳澤昌秀委員・桑原明子委員・三日月桂子委員・根本和彦委員	
欠席者(委員)氏名	栗田尚委員・武藤政春委員	
事務局(庶務担当)	永澤誠スポーツ振興課長・栗原雅之同主幹・中島幸美同主査 武田直美副参事兼指導課長・玉造勇輝指導課副主幹	
議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1)スポーツ関係団体への補助金交付について (2)令和6年度上尾市スポーツ振興事業報告について (3)令和7年度上尾市スポーツ振興事業計画(案)について (4)その他	質疑・意見は議事録のとおり
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 1名
会 議 資 料	別添のとおり	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和 7 年 3 月 31 日 議長(委員長・会長)の署名 <u>遠山正博</u>		

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 それでは、引き続き、令和6年度第2回上尾市スポーツ推進審議会を開会いたします。議事に先立ちまして、第1回審議会にご欠席された委員の方より自己紹介をお願いしたいと存じます。 只限委員、柳澤委員、三日月委員 自己紹介 始めに、遠山会長より開会のご挨拶を頂戴したいと存じます。 2 開会あいさつ
遠山会長	遠山会長あいさつ
事務局	委員総数15名のうち、本日の審議会には13名のご出席をいただいておりますので、会議の開催要件を満たしていることをご報告いたします。 上尾市スポーツ推進審議会条例 第6条 第3項の規定により「会長は審議会を代表し、議事その他の会務を総理する。」こととなっておりますので、以降の議事進行を遠山会長にお願いいたします。
遠山会長	3 議題 本日の案件で非公開事項に該当するものがあるかどうか、事務局にお伺いします。
事務局	はい、本日の案件の中には、非公開事項に該当する議案はございません。
遠山会長	それでは、本日は非公開とする議案はないということで進めさせていただきます。本日、傍聴を希望する方はいらっしゃいますか。
事務局	傍聴者が1名いらっしゃいます。
遠山会長	事務局の方、傍聴者を入場させてください。 傍聴者入場 ※注意事項を説明
遠山会長	(1)「スポーツ関係団体への補助金交付について」 それでは、議題(1)「スポーツ関係団体への補助金交付について」事務局より説明をお願いします。 事務局説明(資料1)
田島委員	ただ今、事務局より説明をいただきましたが、委員の皆様から、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。 交付金をどういったものに使ったのか、内訳とか分かれば教えていただきたいです。
事務局	主なものになりますが、上尾市スポーツ協会への660万円の補助金ですが、上尾市スポーツ協会の加盟団体が全43団体ございます。その各団体への事業活用費の

事務局	補助ですとか、スポーツ協会主催の事業費の運営費等でございます。補助金以外にも加盟団体からの負担金などの歳入がございます。2点目の上尾市スポーツ推進委員連絡協議会の補助金につきましては、活動の運営費となりますが、主だったものであれば、さわやかあげおという広報誌の発行や独自事業として高齢者を対象として軽スポーツを通じた健康維持への事業費、連絡協議会で行う事業費に充てているものでございます。3点目の上尾シティハーフマラソン実行委員会への補助金ですが、こちらは大会開催の運営費に充てるものでございます。この1040万円の交付額の他に、歳入といたしまして、参加料や協賛金などで大会運営を行っております。その費用の内訳として会場設営費や警備費用や計測費用といったものがござい
田島議員	ありがとうございます。なぜ質問をさせていただいかと言いますと、先週末に3月定例会で各種団体への補助金・交付金について、その後の精査をしっかりと行っていくという付帯決議が可決されました。今後も精査されるものと思われるので質問させていただきました。
遠山会長	他にご意見・ご質問はございますでしょうか。 なければ、この議題（1）スポーツ関係団体への補助金交付については以上といたしまして、次に移りたいと思います。 （2）「令和6年度上尾市スポーツ振興事業報告について」 それでは、議題（2）「令和6年度上尾市スポーツ振興事業報告について」事務局より説明をお願いします。 事務局説明（資料2） ただ今、事務局より説明をいただきましたが、委員の皆様から、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。
萩原委員	健康スポレク広場について、コロナ禍後の2021年から実施をしているのですが、高齢者はコロナ禍の影響で家に閉じこもらないように、当時は衛生対策を講じた上で実施しておりました。最初は1会場で年間8回の開催をすべて出いただく形で開催しておりました。その間に体力チェックを3回やって柔軟性や持久力の変化を実感してもらっておりました。ただそれだけでは面白くないので、ミニバレーやマットスとかモルックなどのニュースポーツを取り入れて出来るだけ高齢者に外で活動してほしいという想いでやっておりました。スポーツ協会主催のレクリエーション大会は年1回ですが、高齢者にもう少し外に出る機会を増やすような取り組みや工夫がこれからも必要なのではないかと思っております。
中村委員	私はなぎなた連盟の会長でもあるのですが、なぎなたの体験会はスポ健 Day の他に、市民体育館の自主事業としても体験会を行っていただいたことがございます。その時も十数名の方にご参加いただき好評だったと聞いております。なぎなたは、柔道や剣道に比べるとメジャーではないのですが、体験会の参加者からは、楽しかった、今後も続けてみたいといった声を、子どもだけでなく大人の方からも聞いておりますので、このような事業をこれからも続けてほしいと思っております。
田島委員	スポ健 day の中の卓球体験会とポールウォーキング体験会ですがそれぞれ参加者が6名と4名となっておりますが、今後も続けていく予定ですか。それとも今回の参加人数を含めて違う事業を検討予定ですか。
事務局	事務局の考えといたしましては、参加者をもっと増やしていきたい考えはございます。卓球体験会については会場の都合上、参加人数の上限を8組として募集をかけました。その中で1組が欠席されて、計6組となっております。ポールウォーキン

事務局	グにつきましては、対象を 60 歳以上として募集をしてみたのですが、あまり参加を募れませんでしたので、来年度以降、対象年齢の拡大なども検討していきたいと考えております。
萩原委員	ポールウォーキング体験会について補足ですが、資料にございます大石公民館で行ったものは参加者が 6 名なのですが、公民館事業として 2 月に上平公民館で行ったものについては参加上限が 20 名に対し、22 名の応募がございました。そのため、開催時期で参加者数の変動があるようにも感じました。
遠山会長	他にご意見・ご質問はございますでしょうか。 なければ、この議題（２）令和 6 年度上尾市スポーツ振興事業報告については以上といたしまして、次に移りたいと思います。 （３）「令和 7 年度上尾市スポーツ振興事業計画（案）について」 それでは、議題（３）「令和 7 年度上尾市スポーツ振興事業計画（案）について」事務局より説明をお願いします。 事務局説明（資料 3） ただ今、事務局より説明をいただきましたが、委員の皆様から、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。
樋口委員	各種スポーツ大会について、令和 7 年度は上尾運動公園陸上競技場が使用できないとのことですが、大会規模や参加人数等はどうなるのかお伺いいたします。
事務局	上尾運動公園陸上競技場を主会場としている、上尾市民体育祭、上尾シティハーフマラソン、上尾市民駅伝競走大会につきましては、陸上競技場のトラック部分も含めて例年開催しておりました。上尾運動公園は県の施設ですので、工事概要の詳細部分はまだ分からない状況でございます。現在も工事内容等について、県に情報提供を求めています。いずれにしてもトラック部分は使用できないため、基本的には規模や参加人数の見直しを図り、参加者が楽しく、また安全に開催できるようなイベントとなるよう検討している状況でございます。
篠原委員	スポ健 day の部分の対象者が、在勤・在住・在学者とありますが令和 6 年度実績をみると小学生とその保護者の割合が多かったと思うのですが、現役世代がもっとスポーツに取り組んでもらえるような政策も大事なのかなと思っております。現在、卓球クラブと関わりを持たせていただいている中で、高齢化が進みクラブの存続が難しい課題があるとお聞きしております。若い世代の競技人口を増やすことも重要と考えておまして来年度、再来年度にそのような部分も見据えていただけると嬉しいです。
遠山会長	他にご意見・ご質問はございますでしょうか。 なければ、この議題（３）令和 7 年度上尾市スポーツ振興事業計画（案）については以上といたします。 （４）「その他」 それでは、議題（４）「その他」について、何かございますか。 事務局説明（その他資料） 事務局より第 3 期上尾市スポーツ推進計画のスケジュールについて報告がございました。委員の皆様から、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。

中村委員	この推進計画を策定するにあたって市民アンケートを行うということでしたが、スポーツ施設の充実という項目はアンケート内容に入る予定などあります。スポーツをする機会を増やすのも大事ですが、スポーツをする場所の充実という部分も大切だと思います。費用面等、なかなか難しい部分もあるかと思いますが、出来るかどうかはまだ分からなくてもアンケート内容にいていただきたいと思っております。
事務局	現行の計画におきましても市民アンケートを行いました、その中でスポーツ施設の充実という意見が一番多く寄せられました。利用者の施設の安全利用を第一におきながら既存施設の利便性の向上などの部分については、これまでの推進計画にも掲げている状況でございます。市民体育館などの他に学校開放施設も身近なスポーツ施設と位置付けておりますので、そういった施設の利便性の向上、施設の充実というところも引き続き図ってまいります。
桑原委員	現在の推進計画の評価、報告をどのようになっていますか。
事務局	推進計画内で数値目標を掲げております。その中の一つとして、週1回以上スポーツを行う18歳以上の市民の割合というものを挙げております。現行の第2期推進計画の策定時のアンケート調査によりますと2020の年データでは61.7%の割合でしたが、令和7年には65%以上に、という目標を掲げております。これらにおきましては、スポーツイベントを通じてアンケートを行い、集計している状況でございます。
桑原委員	他の行政計画も携わっておるのですが、その行政計画は、その数値目標に対しての評価を中間報告として一覧にしています。スポーツ推進計画では、そのような報告の方法ではなく、アンケートレベルでの評価、報告ということですか。
事務局	第3期上尾市スポーツ推進計画策定予定のスケジュール内において、第2期の検証を行いまして、8月に開催予定の審議会などの各場面において第2期の評価を報告させていただきたいと思っております。
遠山会長	令和8年1月にパブリックコメントを実施する予定とのことですが、期間はどれくらいの予定ですか。
事務局	約1か月を想定しております。
只限委員	第2期の評価・報告についてですが、もう2期が終わるのにまだ評価報告がないのはいかがなものかと思えます。というのも第3期の推進計画というのは、スポーツ推進審議会を中心にと捉え、ある意味諮問委員会みたいな形かと思うのですが、5月にアンケートの調査内容し、8月の審議会ではアンケートの調査結果報告を行うとなっていますよね。そうすると私たちはアンケートの結果しか見えない。このアンケートについては、第2期のアンケート内容に基づいて作成すると思うのですが、第1期、第2期の結果を前提にアンケートを練り直すのであれば、報告事項ということで受け取るしかない。事務方の皆様はもうこのような計画の策定を何年もやられているので、そこについて良い悪いというわけではないのですが、計画を進めるにあたっては前後しているのではないかと思います。 もう一つ議題は終わってしまっていて恐縮ですが、補助金交付金については年度末等に団体の監査、いわゆるガバナンスという面で言うと必ずやらなければならない。この審議会にスポーツ団体の関係者が委員となっているのであれば、詳細とまではいかないが人件費でいくら使ったなどそういう資料もないといけないかなと思います。報告事項ではなくて議題として挙げられているのでそこを感じました。
遠山会長	只限委員の2点目の意見、補助金交付金についてですが、私が会長を務めている

事務局	スポーツ協会では慎重に審議をしている状況でございます。その結果につきましてもしっかり精査をして市に報告をしております。 只限委員の１点目の意見についてですが、現行の第２期の計画が令和７年度まで継続しております。単年度ごとに数値はおさえておりますので、それもまとめて骨子案という形で示せればと考えおります。 ２点目の意見ですが、遠山会長がおっしゃるとおり、各補助金交付団体で監査をしている状況でございます。ただ、内訳の資料の用意をしておらず申し訳ございませんでした。
加藤部長	補助金の部分についてですが、田島委員がおっしゃるとおり３月定例会で付帯決議がございまして、市が直接交付している団体から、さらに他団体内への交付、間接交付というのですが、決算時点でしっかり説明できるように、といった付帯決議ですので、これはスポーツ団体だけではなく、市から間接補助を受けている団体については、行政経営部でガイドラインを作成する流れとなっております。そのようなことを踏まえながら今後補助金の交付状況などをこのような場でも提示していく、その中で審議していくといった流れになってくると思いますのでどういう形になるかという具体的などころまではまだ申し上げられませんが、市全体として現在そのような流れになっている、というところを報告させていただきます。
遠山会長	各団体の監査はしっかりしておりますね。
事務局	各団体で監査をし、書面に残し各団体の総会で会計監査をしている状況です。
遠山会長	余剰金については返還する措置をとっていますね。
事務局	遠山会長がおっしゃるとおり、補助金算出基準等に則り返還する可能性もあるといった状況でございます。
田島委員	資料１の表の右側に備考欄を作り、そこに補助金使用の内訳などを載せるのが良いと思います。
遠山会長	他に各委員からのご意見、ご質問等がないようであれば「スポーツ推進計画」については終了させていただきます。 もう一つの「地域クラブ活動」の資料について説明を事務局からお願いします。 事務局説明（その他資料） 事務局より地域クラブ活動について報告がございました。委員の皆様から、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします
田島委員	只限委員にお聞きしたいのですが、部活動地域移行について、アカデミックな立場でどういった研究・検証をされておりますか。
只限委員	皆様に知っていただきたいのは、上尾市が現在、取り組んでいることは日本でも最先端です。その労力たるや事務方の頑張り具合や現場の方の協力する姿勢やサンワエナジーさんのご協力の賜物です。スポーツ庁が昨年１２月の有識者会議の場面で話したのですが、令和８年度までに地域移行を完全実施しなさいといった話が令和８年９年１０年に地域展開をしてくださいといった文言に変わりました。現在、埼玉県内では取り組みをしている市町村が非常に少ない。令和１０年に検証を行い、その後３年間で実施することが望ましい、といった流れになっております。その中で上尾市は素晴らしい取り組みをしていると思っております。この地域移行にはスポーツ分野だけでなく文化分野も入っているのです。そもそも地域移行は教員の働

	き方改革の一環として部活動を地域移行しようといったところから始まりました。はっきり言いますと、部活動を廃止しますと言った自治体もございます。神戸市や川崎市などがそうですが、そのような中で上尾市は取り組んできたというのは素晴らしいと思います。アカデミックな立場で、と話がありましたが、わたしは将来、野球の大谷選手やバスケットボールの八村選手のような人は出てこないかもしれない、それぐらいスポーツの根幹を揺るがすようなものではないかと考えております。色々アンケートを取った中で、一番多かったのは違う種目を見ないといけない、教員のミスマッチですよね、この地域移行は国家プロジェクトと謳っているのに国が自治体に投げてしまって予算もつかない。予算は政治がらみのところもあります。それは事務方だけではどうしようもない。上尾市も国費の活用というしておりますが、これが活用できなかったらどうやって続けていきますか、という部分です。私は上尾市が取り組んでいることは素晴らしいことと思いますし、上尾市の規模で取り組んでいるところは、私が知っている限りほぼないです。それくらい事務方の人の尽力に敬意を表したいです。ぜひとも、皆様のご理解を得ながら、進めていただければと思います。また文化芸術分野もスポーツ分野以上に先生方が苦勞して取り組んでいる現実もございますが、こどもたちに素晴らしいものを作り上げてほしいと思っております。
遠山会長	現在、上尾市の取組にスポーツ庁の補助金を活用しているとのことですが、説明の中で、保護者が「今のところは参加費が安くて助かる」と言っておりましたが、補助金が活用できなくなった場合、どのようにお考えですか。
事務局	今年度の参加費は1回につき300円としておりましたが、補助金を活用しても相当苦しい運営でございました。したがって来年度につきましては若干、費用を上げていかなければならないのかなと思っております。来年度もスポーツ庁の委託事業費を申請しておりますが今年度と同金額の保証はございません。そのため実際に移行をした時を考えると、参加費だけでなく、例えば入会費や保険費を別途徴収することも検討しなければいけないと考えております。ただ、参加費がどんどん上がってしまえば、全てのこどもたちが参加することができなくなるわけですから、現在、企業パートナーシップというものを作りまして、地元企業を中心に協賛をいただけないかということで広く募っております。この協賛でこどもたちの参加費を下げる取り組みの一つとして確立をして、地域クラブとして参加費が低いというのを保ったまま移行できればと考えております。 また、困窮する家庭において、申請をすれば参加費の補助を受けられる基金のようなものをクラブで立ち上げるような、そのようなことも現在検討中でございます。そのような方策をもってクラブの運営ができるよう考えてまいります。
只限委員	今の話で言いますと、学校での部活動は無償でできるというものでございました。それでいいますと、受益者負担というものについて相当アレルギーがあるのかなと思います。費用の高い低いはありますがその部分をどのように捉えていくか。例えば私たちがヨーロッパや東アジアでスポーツについて、小学生・中学生に調査をしたところ、東アジアの中国や韓国ではスポーツはエリートスポーツしか続けられない、健康の一環としてスポーツをやる、好きだから続けるといったことは、様々な要因はございますが出来ない。そういった状況になってます。一步間違えると日本も、やる環境がなくてそのまま学生時代を過ごしてしまう、そういう危険を孕んでしまう。お金がすべてではないですが、予算をどう確保するかですとか様々な協力が必要かと思います。国全体で考えると将来的なこどもたちの育成という面では、感受性、感性を伸ばすことへの取り組めるものの選択肢が狭まってしまう、そういう状況に直面していくと思います。
遠山会長	今後青少年がスポーツで世界を目指すようになっていくと底辺がすごく狭くなってしまふ。そのあたりも踏まえて、教育委員会は進めていただければと思います。

桑原委員	現在、自分の子が地域クラブ活動を行っているのですが、周りの親の話も聞くと、私の子はたまたま自分の中学校で実施しているので大丈夫ですが、道具が多い競技ですと、実施場所から離れている子はなかなか参加できない。親御さんが必ず送迎してくれたり、やりたいけどやれないという生徒も実はいるらしいです。それを考えたときに、令和7年度は2拠点になるところも増えると聞きましたが、本当に2拠点で出来るのかということと、令和8年度はもっと増えて4拠点になるとの話もありましたが、実際、本当に4拠点まで増やして指導者の確保も出来るのかなというのをお聞きしたいです。
事務局	ただいまご意見いただいたとおり、子どもたちから効果検証のためのアンケートとして、困ったこと、大変だったことはありますかという項目では、大半が、実施場所が遠いという意見がありました。やはり拠点が1つであることは早急に改善していかなければいけないと認識しております。次年度につきましては、東西に2拠点で実施できる種目もごございますが、最大の課題は指導者の確保でございます。ただ、指導者をやってみようかなという気持ちをお持ちになれる方が、昨年度よりも今年度増えている実施団体や団体に属する指導者が増えていると認識しております。興味を持っていただける方が、少しずつ自信をもって指導に携われる環境作りや AGE0 地域クラブでの研修制度などを充実させていくことが非常に重要と考えておりますので、来年度も運営団体と協力をしながら、そのような体制作りも併せて、指導しやすい、指導に携わりやすい環境を作っていきたいと考えております。令和8年度には生徒の参加者数に応じますが、なんとか東西4拠点設置できればと考えております。
遠山会長	ちなみにスポーツ協会の加盟団体に指導者の要請などはされているのでしょうか。
事務局	本日、資料として地域クラブの実施主体の募集要項を配布しており、教育委員会のホームページにも掲載しておりますが、スポーツ協会を通して、各団体にも配布をさせていただいております。ただし、まだまだ各団体へ説明が足りない部分もございますので、今後も丁寧に説明を行っていきたいと考えております。
柳瀬委員	私が在籍している上尾支部でも周知しておりますので、今後も丁寧に説明をしていただきたいと思います。
山下委員	私はソフトボール協会にも指導者の依頼がございましたので、総会等で周知しております。少し意見になりますが、昭和50年代当時、教員が一生懸命やっていて全体の奉仕者であるとの意識が強かった。そのときから手を打っておけば少し違った結果になったのではないかと思います。中体連のOBとして発言させていただきますが、合同部活動保護者引率、外部指導者規程については埼玉県からスタートしました。日本中体連の目的のひとつに、各競技団体が行う全国規模の大会を一つにまとめようという考えがございました。今お話がでていた費用負担のことですが、競技団体が主催する県や関東、全国規模の大会ですと、公のところからの補助は一切ございません。日本中体連が主催の大会ですと、全国中学校体育大会ですので、市や県から補助金が出ておりましたので、ある程度の費用負担の軽減は出来ていたのではないかと思います。上尾シティハーフマラソンの時に、招待選手の方とお話をしました。部活動の地域移行をするための課題は何ですかとお聞きしました。経済的な理由で生徒の希望を叶えられないのではないかとおっしゃっていました。その部分については、主管課の方も大変ご苦労されていらっしゃるかと思いますので、市教育委員会として、生徒の意向を十分に満たせるようお願いしたいと考えております。
遠山会長	ちなみに剣道連盟の柳澤委員に質問なのですが、道具の貸し出しは行っているのですか。

柳澤委員	特に貸し出しは行ってなく、個人持ちになります。
樋口委員	先ほどの企業などの協賛の関係ですが、現在の状況やどのように募集しているのかお聞きしたい。
事務局	今年度、7種目の実証事業において2社からの費用協賛と物品協賛をいただきましたが、AGEO 地域クラブ統括コーディネーターのサンワエナジークラブを通してお声掛けをし、賛同していただいた企業様にご協力いただいた形となっております。来年度につきましても、運営団体をとおして企業に働きかけをして協賛を募っていくといった形がスタンダードになると思っております。
樋口委員	資料に地元企業等の協賛ということが書かれているが、地元企業のみという制限はないのですか。
事務局	もちろん地元企業を中心にお声掛けをさせていただいておりますが、今年度についてはご賛同いただけなかったということになります。
樋口委員	地元企業もサンワエナジークラブを通して声をかけたのですか。
事務局	もちろん市の担当者も同行をしているのですが、運営団体に、協賛を募る業務の委託をしているので、運営団体を中心に協賛獲得業務を行っております。
樋口委員	地元企業もたくさんありますし、例えば商工会議所に窓口になっていただくとかやり方は色々あるのかなと思います。
中村委員	色々とお話をお聞かせいただいて、やはり指導者の確保や費用面が課題となると思うのですが、家庭が負担するとか、協賛金も含めてやり繰りしなければいけないなんて随分いい加減な感じがします。クラブ活動の予算を市で組むとか、どういう状況でやっていけばよいのかを最終的に地域に任せて、出来ない子は出来ないままでもいいんだ、という方向性になってしまうのか、子どもを教育するスタンス的に、市が青少年健全育成などで子どもにお金をかけてますよね。そういう意味で地域でのクラブ活動に関して、なんでも企業の助けが必要なのが果たして教育の一環となるのか、わたしは少し違うのではないかと思います。そういう部分まで教育委員会の職員が苦勞してやることなのか、本当に学校から地域に移行していくために必要な費用があるのであれば行政として考える必要もあると思います。教育委員会はこの関連の予算はなにも組んでいないのですか。
事務局	資料にもあるとおり、市の予算はありません。これからの市の予算もいただけるように頑張りたいと思います。
中村委員	どう節約しても費用がかかるものはかかります。聞いてると良い方向に進んでいるのかと思いますが、運動したい子どもが運動できるように、子どもの家庭の負担などの基本的なことも考えていかないと難しいと思いますので、少し心配でしたのでお話をさせていただきました。
只限委員	中村委員のおっしゃるとおりで、これは国家的プロジェクトといいつつ国はまったく予算を出しません。自治体任せということで、地域移行をやらなくてもよい選択肢もあるんです。その中で上尾市がこれだけのものを創り上げてきているのであれば、お金がすべてではないですが、お金がなければ進めていけない、というのが現実です。私が携わっていた群馬県太田市、ここは人口23万人ほどですが、様々な企業からの協賛や市民からの寄付でダイヤモンドアスリートを輩出しようということで10年近くやっております。そのため、そのような様々なやり方を検討せざる負えない。あとは先ほども話がありましたが中体連との関係等も今後考えていかな

根本委員	ければならないと思います。 現場の状況ですが、教員の働き方改革もこの地域移行のきっかけのひとつだと思います、ただこれだけではないです。部活動との両立をうまくやっている教員もおりますし、一概に部活が悪いわけではないと思っております。ただ、部活の顧問をするのが難しいと考えている教員は多くなっております。それにかこつけて、担任をしたくないという教員も増えております。これは現場にとってはかなり厳しいです。 部活動に関しては一律化というのはやめていただきたい。部活動の顧問をやりたい人は続けて良い、難しい教員はやらなくて良いという環境を作っていただだけで十分かなと思います。令和8年度以降、土日の部活動が地域に移行ということですが、ただ、体育大会は学校ごとの参加になります。野球とかサッカーは練習試合を行うのは土日です。土日に練習試合をせず、体育大会に参加できるのか、という疑問は出てきています。それは教育委員会にお願いをして、大会の1か月前とかは土日に学校部活動をやらせてほしいなどの要望を出そうかなという状況にあります。学校施設も様々であり土日の部活動に差が出てきてしまう。それは子どもたちにとっては不公平となってしまう。大会に参加するための公平感を検討してもらえるとありがたいです。
遠山会長	他に各委員からのご意見、ご質問等がないようであれば「地域クラブ活動」については終了させていただきます。 それでは議事が全て終了いたしましたので、以上をもちまして議長の任を解かせていただきます。皆さまご協力ありがとうございました。
事務局	4 閉会 委員の皆様、活発な議論をありがとうございました。また、遠山会長におかれましては、スムーズな進行をありがとうございました。 それでは、最後に、根本副会長より閉会のご挨拶を賜りたいと存じます。よろしくお願いいたします。 根本副会長 閉会あいさつ それでは、以上をもちまして、令和6年度第1回上尾市スポーツ推進審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。